

<地域福祉・高齢者福祉の理念・目標>

1. 高齢者の生きがいと健康づくり
2. 安心して暮らせる町づくり
3. 住み慣れた地域で暮らし続ける

人口	28,785 人
65歳以上人口	6,887 人
高齢化率	23.9 %
高齢者のみ世帯数	2,148 世帯
要介護認定者数(二号保険者含)	1,225 人
若年性認知症推定数	9 人

*18~64歳人口10万人に対し、47.6人

<気づきシート記入上の注意点>

- * このシートは、認知症の人の生活機能障害にあわせ、地域で支えていくためのサービスについて、以下の点を確認するためのものです。
 - ① 現在ある社会資源(介護保険サービス、自治体独自サービス、インフォーマルサービス等)の把握
 - ② 現在ある社会資源を、どのような状態の人が利用されているかの把握
 - ③ H29年度の単純推計に対し、どの社会資源が不足・過剰になると考えられるか
 - ④ 認知症の人の生活機能障害に対し、どのサービスで、どのように支援をしていくかの協議・検討
- * H29単純推計の求め方は、現数・現在利用者数に介護保険事業計画に用いる65歳以上人口の伸び率をかけ、算出しましょう。
- * 「必要数」には、H29単純推計の値を基に、関係者で社会資源の整備に関する今日をした結果を反映した数字を記入しましょう。
- * このシートの数値は、わかる範囲で埋めていくようにしましょう。もしわからないところがあれば、空欄でも結構です。
- * 空欄の部分に関しては、今後できるだけ数字を把握できるようにしていきましょう。

65歳以上で要介護認定を受けていない方

認知機能の障害程度(CPS)		0			1			2			3			4			5			6		
現数	H29推計	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標
5,723	6,181	4,523	4,885	4,912	728	786	786	421	455	450	42	45	30	6	6	3	3	3	0	0	0	0

認知機能の障害程度(CPS)		0			1			2			3			4			5			6			
現在の利用者数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数
地域支援事業等	一次予防・二次予防利用者	589	636	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未利用者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護保険サービス以外	いきいきふれあいサロン	21	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	配食見守りサービス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者クラブ	14	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	緊急通報装置	42	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	SOSネットワーク		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症カフェ		0	48	0	0	0	0	0	45	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症サポーターによるサロン		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	服薬確認電話サービス		0	10	0	0	0	0	0	0	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

要介護認定を受けている方(二号保険者含)

認知症高齢者の日常生活自立度		自立			I			II a			II b			III a			III b			IV			M			
現数	H29推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標	現数	H29単純推計	目標			
1,225	1,323	1,323	298	322	365	222	240	283	132	143	160	241	260	250	177	191	186	54	58	54	74	80	76	27	29	25

認知症高齢者の日常生活自立度		自立			I			II a			II b			III a			III b			IV			M					
現在の利用者数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数	現数	H29単純推計	必要数					
介護保険サービス以外	いきいきふれあいサロン	30	32	56	18	19	30	12	13	18	0	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	配食見守りサービス	79	85	105	23	25	34	28	30	37	18	19	25	6	6	9	4	4	0	0	0	0	0					
	高齢者クラブ	62	67	89	42	45	60	18	19	25	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	緊急通報装置	373	403	408	130	140	145	132	143	145	45	49	49	32	35	35	18	19	19	11	12	12	2	2	2	3	3	3
	認知症SOSネットワーク	24	26	27	0	0	0	0	0	0	5	5	5	7	8	8	8	9	14	4	4	0	0	0				
	認知症カフェ	0	0	64	0	0	0	0	0	0	15	0	25	0	19	0	5	0	0	0	0	0	0	0				
	認知症サポーターによるサロン	0	0	21	0	0	0	0	0	0	5	0	10	0	10	0	6	0	0	0	0	0	0	0				
	服薬確認電話サービス	0	0	125	0	0	0	0	0	0	50	0	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	サービス付き高齢者住宅	26	28	27	16	17	17	6	6	6	3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0				
介護保険サービス	訪問介護	388	419	416	106	114	110	86	93	90	47	51	53	81	87	89	41	44	46	12	13	14	13	14	12	2	2	2
	通所介護	408	441	398	72	78	72	70	76	70	60	65	61	112	121	110	68	73	65	11	12	8	14	15	12	1	1	0
	短期入所生活介護	54	58	50	1	1	1	3	3	3	4	4	3	23	25	23	15	16	13	2	2	2	5	5	4	1	1	1
	定期巡回随時対応訪問介護看護	0	0	11	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	3	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	
	認知症対応型通所介護	13	14	44	0	0	0	0	0	0	4	2	2	13	5	5	13	3	3	7	3	3	6	0	0	0	1	
	小規模多機能型居宅介護	11	12	20	0	0	0	0	0	0	0	4	4	6	7	8	10	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	
	認知症対応型共同生活介護	23	25	23	0	0	0	0	0	0	1	1	1	9	10	9	6	6	6	3	3	3	3	3	1	1	1	
	介護老人保健施設	54	58	51	4	4	3	10	11	9	5	5	4	9	10	9	19	21	19	2	2	2	3	3	3	2	2	2
	介護老人福祉施設	60	65	57	3	3	2	2	2	1	6	6	5	4	4	4	20	22	20	10	11	10	14	15	14	1	1	1
	特定施設	99	107	116	28	30	32	49	53	55	12	13	16	8	9	11	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	”																											
	二次予防																											
	未利用	288	311	299	109	118	123	52	56	59	27	29	32	47	51	45	19	20	16	9	10	6	12	13	10	12	13	8

医療の整備状況

認知症の診断がある入院患者数	28 人
国民健康保険、後期高齢者医療保険加入者等	

相談窓口

包括、行政窓口、NPO等	整備数
地域包括支援センター	2ヶ所
居宅介護支援事業所	14ヶ所
	ヶ所

医療	研修名		認知症専門医療機関			
	訪問診療をしている病院・医院・クリニック数	2	ヶ所	認知症疾患医療センター	〇〇市民	病院
	訪問看護ステーション数	3	ヶ所	認知症医療診療所	0	ヶ所
	重度認知症デイケア	0	ヶ所	もの忘れ外来等の数	2	ヶ所

人材の育成
～オレンジプラン～

研修名	修了者数(現数)	H29年度目標数	国の目標値(参考)
かかりつけ医認知症対応力向上研修	4 人	11 人	高齢者人口600人に対して1人
認知症サポート医養成研修	0 人	1 人	一般診療所25か所に対して1人
認知症サポーター	118 人	143 人	全国で600万人
認知症地域支援推進員	0 人	2 人	5つの中学校区あたり1人
認知症介護指導者	1 人	2 人	5つの中学校区あたり1人
認知症介護実践リーダー研修	人	人	
一般病院認知症対応力向上研修	人	人	病院1か所あたり、医師2人看護師8人が受講
	人	人	

<確認のポイント>

- * H29年の単純推計値は、現在整備されている介護保険サービスをはじめとする社会資源で対応可能な人数でしょうか?
- * 現在整備されている社会資源で対応が難しい場合、対応を考えましょう
 - ・ 貴自治体の地域福祉の理念・目標を踏まえましょう
 - ・ 人口動態を踏まえましょう
 - ・ 居宅サービス、通所サービス、施設サービスのそれぞれのコストや職員確保が可能かを確認しましょう
 - ・ 既存の資源のうち、他のサービスに切り替えやサービスの拡充ができるものがないか、検討しましょう
- 例：
 - 通所介護 → 高齢者サロン、配食サービス
 - 通所介護 → 認知症対応型通所介護
 - 通所介護、訪問介護、短期入所生活介護 → 小規模多機能型居宅介護
- * 未利用の方がどのようにして生活されているか、確認しましょう
- * 若年性認知症の推定数に対し、何名を把握していますか? その人たちは介護保険以外のサービスを利用していますか?
- * 自治体独自サービス、インフォーマルサービスの利用者数や生活状況をどの程度把握されているか、確認しましょう

*若年性認知症の有病率(人)：筑波大学大学院人間総合科学研究科 朝田雅樹氏「若年性認知症の発症と対応の基盤整備に関する研究(厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業)」(2009年)より

認知症の人の生活機能障害を踏まえ、どういったサービスで支えていくのか、介護保険サービス事業者や医療関係者、社会福祉協議会、認知症地域支援推進員、ボランティア等の関係者で協議・検討すると同時に、どのような認知症の人に対し、どういった支援を組み合わせ、地域での暮らしを支えていくのか、サービスの拡充だけでなく、現存サービスの切り替えなども考慮に入れて、検討しましょう。